

WE'RE FOR CREATORS™

2023年12月期 第1四半期
決算補足説明資料

2023年5月15日

zoom®

株式会社ズーム

(ご注意) 本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Sound Service Groupの連結子会社化により大幅な増収及び増益

2023年第1四半期連結業績

売上高	:	3,808百万円	(前年同期比	+1,012百万円)
営業利益	:	79百万円	(前年同期比	+ 166百万円)
経常利益	:	18百万円	(前年同期比	+ 75百万円)

- 前年同期に比べて円安に推移したことに加え、Sound-Service Musikanlagen-Vertriebsgesellschaft mbH（以下、Sound Service社）及びその子会社であるSound Service MSL Distribution Limited（以下、Sound Service MSL社。両社合わせてSound Service Group）を2023年1月に連結子会社化したことにより、大幅な増収及び増益

■ 1Q ■ 年間

(百万円)



2023年12月期 第1四半期 連結損益計算書（要約）



（百万円）

	2022.12期 第1Q実績	2023.12期 第1Q実績	増減額	摘要
売上高	2,795	3,808	1,012	・主としてSound Service Groupを2023年1月に連結子会社化したことにより増加
売上総利益 （売上総利益率）	1,032 (36.9%)	1,488 (39.1%)	456	・売上総利益率の高いSound Service Groupの連結子会社化 ・なお、連結子会社化に伴い、同社の在庫に含まれる未実現利益控除額が増加している（85百万円増。初年度一時費用）
営業利益 （売上高営業利益率）	▲87 (▲3.1%)	79 (2.1%)	166	・Sound Service Groupの連結子会社化によるのれん償却費が販管費に50百万円含まれる
経常利益 （売上高経常利益率）	▲57 (▲2.0%)	18 (0.5%)	75	・Sound Service社株式取得資金のシンジケートローン手数料を62百万円計上
親会社株主に帰属する四半期純利益 （売上高四半期純利益率）	▲60 (▲2.2%)	▲87 (▲2.3%)	▲27	・のれん償却費に節税効果がないことや、Mogar社、Sound Service Groupの利益に非支配株主持分が生じるため、最終赤字に
EBITDA	15	279	264	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費
減価償却費 研究開発費 為替差損益	※ 102 230 26	※ 200 171 7	97 ▲59 ▲19	※のれん償却費102百万円（前年同期47百万円）を含む
平均為替レート（円／米ドル）	116.2円	132.3円	+16.1円	

Other(その他、Mogar取り扱いブランド、フックアップ取り扱いブランド、Sound Service取り扱いブランド)

Handy Audio Recorder



H6 BLACK

6種類の交換マイクカプセルで、ポッドキャスティングから音楽、映像プロダクションなど、いつでも頼りになるプロ音質のハンディレコーダー

UAC-232



V3



Sound Service Groupの連結子会社化により、Otherの割合が増加

Mogar取り扱いブランド

フックアップ取り扱いブランド

Sound Service取り扱いブランド

Digital Mixer / Multi Track Recorder



L-8

音質の良さはもちろん、BGMを流したり、電話出演のゲストを招き入れたり、ポッドキャスト番組の収録やライブ演奏のミキシングが手軽に行えるライブミキサー&レコーダー

売上高
3,808
百万円

Others
49%

HAR
19%

DMX/MTR
12%

MFX
9%

PFR
8%

HVR
3%

Handy Video Recorder



Q8n-4K

ミュージシャンのための高音質4Kカメラ

Professional Field Recorder



F3

様々な撮影現場で、大音量から極めて静かな音まで最高のクオリティで歪みなく録音可能なフィールドレコーダー

Multi Effector



G2X FOUR

ギターの表現力を大幅に広げるエクスペッションペダルを装備したマルチエフェクター

Sound Service Groupの連結子会社化により多くのカテゴリーで売上が増加

(百万円)

	2022.12期 1Q実績(シェア)	2023.12期 1Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	678 (24%)	725 (19%)	46	<ul style="list-style-type: none"> Sound Service Groupの連結子会社化により増加 Sound Service Group連結子会社の影響を除いた場合 売上：672百万円（前年同期比▲5百万円）
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX/MTR)	285 (10%)	452 (12%)	167	<ul style="list-style-type: none"> Sound Service Groupの連結子会社化により増加 半導体不足の影響からLシリーズの売上が回復
マルチエフェクター (MFX)	246 (9%)	333 (9%)	87	<ul style="list-style-type: none"> Sound Service Groupの連結子会社化により増加 G2 FOUR、G2XFOURの新製品効果
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	232 (8%)	311 (8%)	78	<ul style="list-style-type: none"> Sound Service Groupの連結子会社化により増加 F3及びF8n Proの売れ行きが好調
ハンディビデオレコーダー (HVR)	148 (5%)	123 (3%)	▲25	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でWEB会議目的等の需要の急増があったことによる反動減が継続
その他	173 (6%)	297 (8%)	124	<ul style="list-style-type: none"> Vシリーズ及びZDM-1PMPの売上が北米地域で好調 AMSシリーズ及びUAC-232の新製品効果
Mogar取扱いブランド	191 (7%)	270 (7%)	79	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期に現地販売代理店の在庫調整による売上の減少があった
フックアップ取扱いブランド	839 (31%)	366 (10%)	▲472	<ul style="list-style-type: none"> フックアップの決算日変更により前年同期は6ヶ月分の売上を取込み（当期は3ヶ月分の売上を取り込み）
Sound Service取扱いブランド	-	927 (24%)	927	<ul style="list-style-type: none"> Sound Service Groupの連結子会社化により、同社が取扱うZOOM製品以外の売上をSound Service取扱いブランドに計上
合計	2,795	3,808	1,012	

Sound Service Groupの連結子会社化により中欧地域の売上が大幅に増加

(百万円)

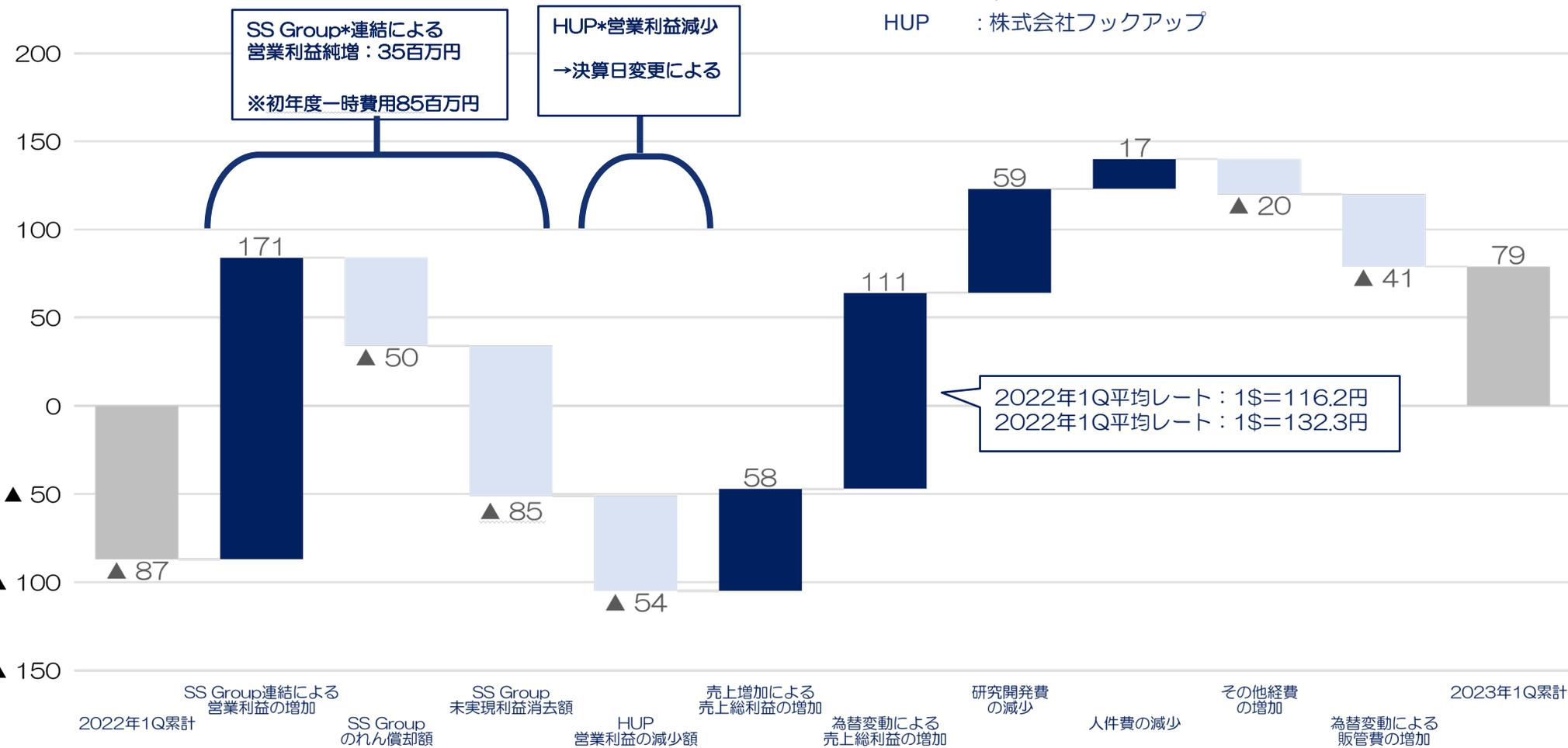
	2022.12期 1Q実績(シェア)	2023.12期 1Q実績(シェア)	増減額	売上高の増減要因
中央ヨーロッパ※1	153 (5%)	1,452 (38%)	1,299	・ Sound Service Groupの連結子会社化により、同社の売上を中央ヨーロッパ地域の売上として記載 (前年同期はズーム単体の中央ヨーロッパ向け売上を記載)
北米	800 (29%)	798 (21%)	▲1	
南ヨーロッパ※2	470 (17%)	601 (16%)	131	・ 前年同期に現地販売代理店の在庫調整による売上の減少があった
日本	1,026 (37%)	596 (16%)	▲430	・ 決算日変更により前年同期はフックアップの6ヶ月分の売上を取込んだ一方、当期は3ヶ月分の売上を取り込んだため464百万円減少 ・ ZOOM製品は新製品効果により34百万円増加
中国	30 (1%)	58 (1%)	27	
その他	313 (11%)	299 (8%)	▲13	・ 台湾▲18百万円
合計	2,795	3,808	1,012	

※1. 中央ヨーロッパは、ドイツ、イギリス、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

※2. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

営業利益の増減分析 (百万円)

* SS Group: Sound-Service Musikanlagen-Vertriebsgesellschaft mbH
 及びSound Service MSL Distribution Limited
 HUP : 株式会社フックアップ



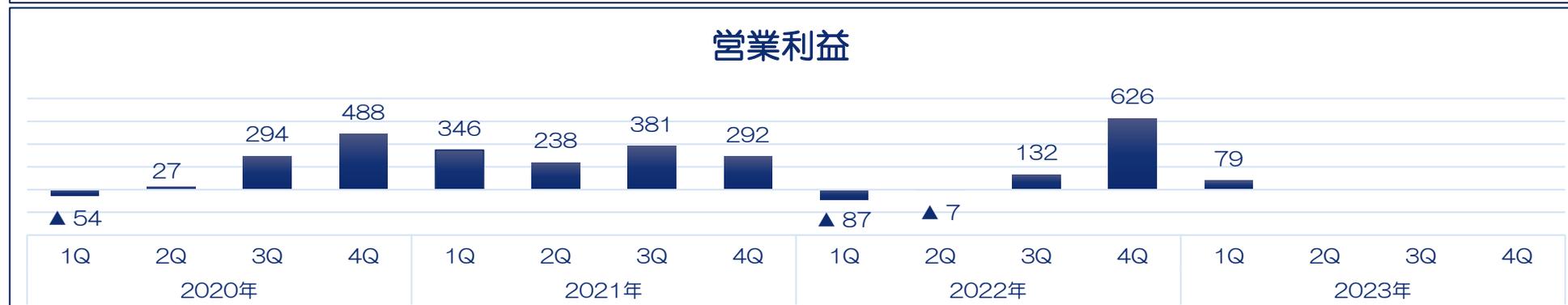
2023年12月期 第1四半期 連結貸借対照表（要約）



（百万円）

	22.12期末	23.12期 第1Q末	増減額	主な増減要因
流動資産	10,841	12,433	1,591	
現預金	2,171	2,487	315	
受取手形及び売掛金	2,109	1,911	▲197	売上減少：前期4Qは4,399百万円、当期1Qは3,808百万円
商品及び製品	4,013	6,223	2,209	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+2,532百万円）
原材料及び貯蔵品	1,288	1,158	▲129	有償支給品の預け在庫の減少
固定資産	2,808	5,584	2,775	
有形固定資産	647	1,457	809	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+862百万円）
無形固定資産	1,437	3,411	1,974	Sound Service Groupの連結子会社化により、のれんが1,957百万円増加
投資その他の資産	723	715	▲8	
資産合計	13,650	18,017	4,367	
流動負債	5,907	6,535	628	
買掛金	1,080	1,386	306	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+493百万円）
短期借入金	2,513	2,825	312	Sound Service Groupの連結子会社化による増加（+364百万円）
固定負債	1,152	4,465	3,312	Sound Service社株式取得資金の借入により、長期借入金が2,463百万円増加
負債合計	7,060	11,001	3,941	
資本金	212	212	—	
純資産合計	6,590	7,016	426	Sound Service Groupの連結子会社化により、非支配株主持分が922百万円増加
負債純資産合計	13,650	18,017	4,367	

(百万円)



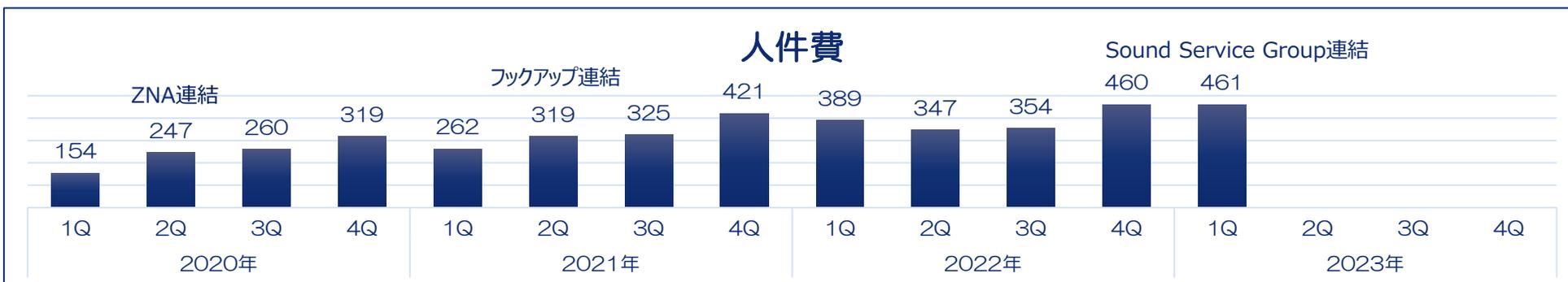
Sound Service Groupの連結子会社化により大幅な増収及び増益

(百万円)

研究開発費



人件費



その他経費



Sound Service Groupの連結子会社化により人件費・その他経費が増加

Sound Service Groupの連結子会社化により増収及び増益を予想

- Sound Service Groupの連結子会社化により、1Q実績で通期売上予想の25%を達成
- 一方、連結子会社化に伴い、同社の在庫に含まれる未実現利益控除額やのれん償却費の増加、のれん償却費の非節税効果による法人税等の増加及び非支配株主持分への当期利益の振替額により、各段階利益への貢献は1Qにおいては限定的な面も。

(百万円)

	22.12期 実績	23.12期				
		予想	増減額	増減率	1Q実績	達成率
売上高	13,235	15,230	+1,994	+15.1%	3,808	25%
営業利益	664	1,030	+365	+55.1%	79	8%
経常利益	720	910	+189	+26.4%	18	2%
親会社株主に帰属する当期純利益	377	400	+22	+5.9%	▲87	-
EBITDA	1,111	1,709	+597	+53.8%	279	16%

一株当たり当期純利益	88.36円	92.68円	+4.32円	+4.9%
一株配当	50円	30円	-	-
配当性向	56.6%	32.4%	-	-
為替レート (円/米ドル)	131.4円	122.5円	-	-

※ 為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約16百万円減少（増加）

通期では売上・利益ともに業績予想を達成の見込み